

9月定例会



仲間を信頼、みんなで組体操！

—大治小学校運動会—

防災対策強化で町民税500円負担増

平成26年度から10年間 均等割に加算

▼町税条例の一部改正
国の法改正に伴い、町が実施する防災対策の財源に充てるため、個人町民税の均等割を500円増税するものです。

主な条例改正

平成24年9月定例会は、9月5日に開会し、21日間の会期で行いました。「町税条例の一部改正」や「平成23年度一般会計決算の認定」など、19議案を可決・認定しました。
なお、一般会計補正予算には、文化財フェアの追加予算を認めない修正案が提出されましたが、5対6の僅差で否決しました。
また、鈴木教育長の再任は、教育委員会の運営に対する疑問の声が上がり、6対5の僅差での同意となりました。
他に、「私学助成の増額を求める」など、4件の意見書を可決しました。

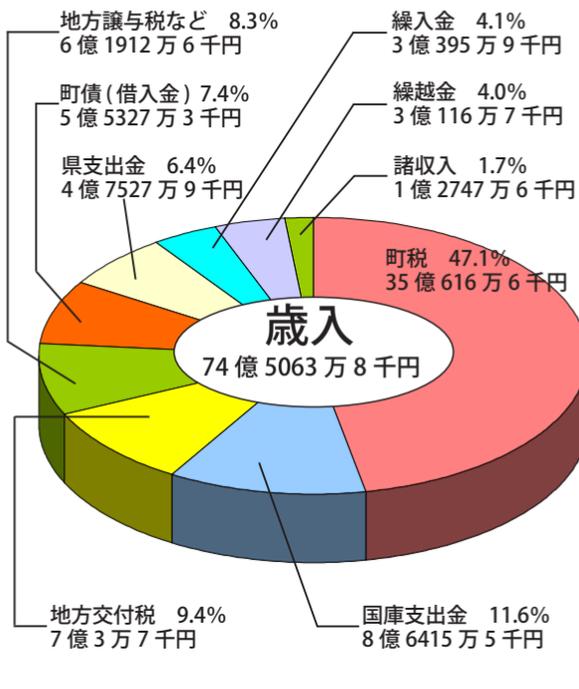
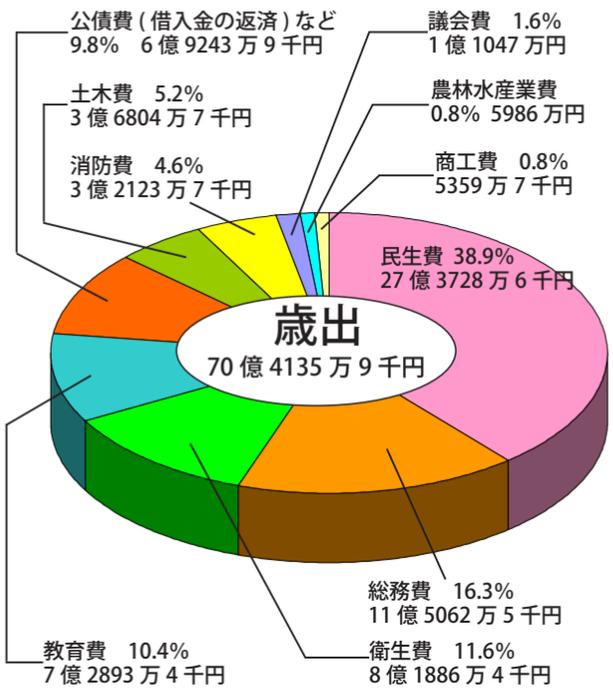
▼公共下水道工事
(花常・堀之内地区)
▼契約先 海部建設(株)
▼契約金額 5355万円
▼工期 平成25年3月25日まで

工事請負契約

▼各種予防接種委託料
2517万4千円
生ポリオワクチンから、不活化ポリオワクチンの接種への変更などに伴うものです。

主な補正予算

▼文化財フェアに関する増額 181万4千円
文化財を展示するための備品費用や、推定松葉城址の試掘委託料などです。
▼廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正
ごみ収集場所に出された新聞、アルミ缶などの資源物の持ち去りを禁止するものです。



平成23年度 一般会計 決算の構成比

(千円未満 四捨五入)

平成23年度決算状況	会計		歳入	歳出
	一般会計	特別会計		
	一般会計		74億5063万8145円	70億4135万8965円
	国民健康保険特別会計		29億2876万4465円	28億5422万8160円
	土地取得特別会計		36万540円	36万540円
	介護保険 保険事業勘定		11億49万2384円	10億5759万9720円
	特別会計 介護サービス事業勘定		2726万820円	2213万3068円
	公共下水道事業特別会計		3億5187万4706円	3億5079万2673円
	後期高齢者医療特別会計		3億3807万9124円	3億3587万7994円
	合計		121億9747万184円	116億6235万1120円

本会議質疑 & 委員会ダイジェスト



町税条例の一部改正

増税分の用途は

質問 10年間にわたり、個人町民税の均等割を500円増税することだが、増収分は何に使うのか。

回答 同報無線をデジタル化する際の、財源の一部に充てる予定である。

特別会計の設置を

質問 防災を目的とした増税であるので、特別会計を設置すべきだ。

回答 その考えはない。

反対討論II吉原経夫議員

不景気の中で、負担の増加をするべきではない。増税するならば所得割にすべきである。

国の法改正に伴うものだが、昨年度おこなった町民税減税と矛盾している。

また、防災に使われる保証もない。

賛成討論II下方繁孝議員

国の法改正に伴った、個人町民税の均等割の引き上げである。

この増収分は、防災に関する整備などに充てられる。それにより、町民の安全安心につながると思われる。

廃棄物処理及び清掃に関する条例の一部改正

対象は

質問 持ち去り禁止に当たる物は何か。

回答 月1回の資源物回収日に出される古紙、アルミ缶などである。

しかし、不燃ごみ(赤袋)で出されたものは、対象外である。

条例との関係

質問 地域によっては、子ども会が資源物を回収している。

条例との関係は。

回答 子ども会の回収物は、条例の適用外である。

罰金は30万円

質問 違反者には30万円以下の罰金とある。どう適用していくのか。

回答 違反者に対して、町が命令書を発行し、それに従わない者は、警察に告発する。



4カ国語で 警告!

平成24年度一般会計補正予算

なぜ補正か

質問 文化財フェアは、当初の計画から、どのように変更となったのか。

当初予算の範囲内で、できないか。

回答 計画に大きな変更はない。

しかし、文化財の展示には、湿度管理ができる展示ケースが必要となった。

副作用は

質問 生ポリオワクチンから、不活化ポリオワクチンに変更するが、副作用はないか。

回答 生ポリオワクチンは、ごくまれに手足に麻痺を起こす副作用が報告されている。

不活化ポリオワクチンには、発熱以外に副作用の報告はない。

接種料が高くないか

質問 不活化ポリオワクチン接種料の全国平均が、8千円台と聞いているが、海部地域は約1万2千円となっている。

回答 海部医師会との交渉で、この金額となった。今後は、金額交渉に努力し、国にも財政支援の要望を行っていく。

原案に対する賛成討論

II 林 健児議員

文化財フェア成功のために、必要な予算であると認める。

修正案に対する賛成討論

II 浅里周平議員

補正予算とは、当初予算確定後に、政治、経済、社会情勢の変化などによって提案されるものである。今回の文化財フェアの増額は、この理由に該当せず、到底認められない。

達成率の報告

質問 町民の要望に対する工事の達成率は。

回答 側溝新設10%、側溝修繕13%、舗装修繕28%、溝ふた設置40%、側溝暗渠清掃36%、舗装新設14%、街路灯設置32%、反射鏡設置79%、河川浚渫33%である。

滞納対策は

質問 町税の滞納額が4億円を超えている。その対策は。

回答 現年度分を翌年度に繰り越さないよう、優先して徴収している。過去の滞納分は、西尾張地方税滞納整理機構に引き継ぐとともに、町も徹底した調査を行っていく。

賛成討論II折橋盛男議員

コンビニ収納の導入や、西尾張地方税滞納整理機構への加入など、税収の確保に積極的に取り組んだことは評価できる。

平成23年度公共下水道事業特別会計決算の認定

反対討論II吉原経夫議員

町全域の下水道を整備するのに、40年以上という期間と多額の費用がかかる。公共下水道整備計画を見直し、合併処理浄化槽への助成など、すぐに行える施策で整備を進めるべきだ。

賛成討論II広田幸治議員 決算は、特に問題ない。工事をを行うに当たって、近隣の事前調査を行うなど、的確に事業が進められている。

反対討論II広田幸治議員 まず、町民税の減税の効果が検証されていない。また、福祉作業所さつきの家で、精神障がい者の受け入れを、早急に対応するとしていたが、態勢がとられていない。その他の事業も、工夫や努力が足りず、前例主義によって継続されているものが多い。



歴史を感じさせる、明眼院の仁王像

平成23年度一般会計決算の認定

不正請求の対応は

質問 町内にあった障がい者のための就労支援施設が、不正請求した事実があった。

回答 当該事業者に、分割で返還させている。



議案に関する現地調査を実施

本会議を傍聴してみませんか

町政を知るには、議会を傍聴することが一番です。傍聴を希望される方は、本会議の当日、役場4階議場前で受付後、傍聴席へお入りください。(定員：60人) 日程は、この議会だよりの4ページ、もしくは、町ホームページをご覧ください。

平成23年度後期高齢者医療特別会計決算の認定

反対討論II吉原経夫議員 高齢者を差別し、負担を多くするこの後期高齢者医療保険制度自体に、多くの問題点があると思われる。よって、決算にも反対である。

賛成討論

II後藤田麻美子議員 歳入、歳出とも適正な決算処理が行われていると認める。

高齢化社会の中で、保険制度を守るのは私たち国民自身であり、若い世代も協力をし、国民全体で公平に支えていく制度である。

ずばり直言！ 一般質問

9月議会の一般質問は、9月10日に行い、8人の議員が町政をたどしました。質問と答弁を要約してお知らせします。

町長の職務権限違反をただちにやめよ



町長は、西小学校長に、校門で教職員があいさつ運動に参加していないことを、強い口調で注意したと聞く。

学校に対して、町長には職務権限はなく、教育内容は学校に任せ、口を出すべきでない。しかも、児童の前で、校長に言うことではない。町長の見解を問う。

事実と違う

町長 校長を叱責したことはない。
問 文化財フェアに権限のない総務部長が口出しするな
答 町と教育委員会の共催であり、問題ない
問 パワハラ防止条例の策定を
答 考えはない
他に7問ありました

多重債務者にも希望の朝を



多重債務者にさせないための予防、多重債務に陥った方に対する支援をする

とは、4つの利点があると考え。税金の滞納防止、町民生活の安定、犯罪の防止、自殺の予防である。消費税の増税が見込まれ、苦しむ方が増えるのではないかと危惧する。本町も予防を含めた多重債務対策の強化を。

相談があれば、支援

総務部長 納税相談の中で話があった場合、相談支援を行っている。
また、毎月第三水曜日の消費生活相談のときに、多重債務の相談も受け付けている。

問 ふるさと納税の活用を
答 まちづくり活動をPR

情報の「輪」と人の「和」で命をつなぐまちづくり



命を守るために正確な情報を町民に提供する体制や、連携をどうしていくのか。

①防災行政無線の整備状況と今後の取り組みは。
②連携強化のため、各種団体との防災協議会の設置を。
③「防災の手引き」の作成・配布を。
④県の「みずから守るプログラム」を参考に、町ができる水害対策は何か。

対策に努める

総務部長 ①防災行政無線は、整備後23年が経過したので、デジタル化する予定。②必要であれば、協議会の設置を検討。
③平成25年6月に示される国の災害想定を踏まえ、よりよいものを検討。
④町民が安全に避難できるように、防災の啓発に努める。

制定せよ 環境美化条例



道路端や側溝・用水路に、ジュース缶やビニール袋などが散乱し非常に汚い。また、犬のふんが放置されたままの状況も目に付く。

最近では、分別収集が守られず、ごみ出しが乱れている状況も目を覆う。環境美化条例を制定し、分別収集の徹底、ポイ捨てをなくすなど、きれいなまちづくりを推進すべきだ。

前向きに検討

町長 町民の環境に対する意識を高めてもらうために、環境美化条例を前向きに考えたい。
また、「いいまちづくり隊」での活動に、「ごみゼロ」も考えていきたい。

問 老人会を全行政区に
答 リーダー育成に努める

小中学校での防災教育の推進・充実を



東日本大震災後、小中学校での防災教育の見直しを求められている。

文部科学省では、地域性を反映した学校独自のマニュアルづくり、防災教室の推進・支援を提案している。学校での防災訓練や防災教室は、充実した内容になっているのか。

充実に努めている

教育長 地震や火災の訓練だけでなく、水害を想定し、最上階へ避難する訓練も実施している。
また、小学校1年生にも理解できるように、防災教室を行っている。

いじめ問題、子どもの視点で対応を



小中学校での、いじめ問題が後を絶たない。

いじめ問題は、子ども、学校、教育行政の3つの側面から考えられる。町内の小中学校から、いじめをなくすために何う。
①本町でのいじめの実態と把握は。
②学校と教育委員会は、どのようにいじめに対処していくのか。

早期発見、解決に努める

教育長 ①昨年度は、小学校1件、中学校4件のいじめが報告されている。アンケートや面談で早期発見・対応に努めている。
②学校・家庭・教育委員会が共通の認識を持って取り組む。
さらに、スクールカウンセラーの充実を県に願っている。

議員の期末手当を問う



町内行事を行うたびに、いつも感じることは、町民の献身的な活動は、ほとんどがボランティアで一生懸命行われていることだ。

議員も、職業ではなくボランティアである姿が理想ではないか。議員の職務は非常勤であり、常勤職員や民間企業と比較すると、期末手当の廃止が、改革の第一歩ではないか。

議会で議論を

町長 地方議会は、ボランティアの延長上にあるのではないかと。私が議員のときには、報酬の日当制などを提案したことがある。

期末手当は、常勤の者に支給されるもので、本来は非常勤に支給されるものではないと考える。議会で、議論してほしい。

合併を問う



名古屋市との合併は、単独での合併を推進しているが、進捗状況を示せ。

また、「あま、大治、蟹江、飛鳥まちづくり連携協議会」の設立を、名古屋市合併に結びつけられないか。

進展はない

町長 5月に合併協議会の設立をお願いに行っており、メリット、デメリットなどのすり合わせは、名古屋市の都合で進展はない。「まちづくり連携協議会」は、隣接した市町村が力を合わせて、いろいろな提案をし、協力をしていきたいという趣旨で設立した。

より多くの人に読んでほしい

～県町村議会広報研修会に参加～

8月6日に県の広報研修会に参加しました。

講師からは、「編集の原点はあくまでも読者＝住民」や、「読者の関心をどう掴むか」など、細かいところまで指導を受けました。

後半は、2市5町の「議会だより」を教材に、写真の使い方や文章表現などの具体的な指導がありました。

この研修を生かし、より多くの町民の皆様に読んでいただける紙面づくりに努めていきます。



	議案	賛成	反対	議決結果
9 月 定 例 会	防災会議条例の一部改正	11	0	可決
	災害対策本部条例の一部改正	11	0	可決
	町税条例の一部改正	9	2	可決
	廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正	11	0	可決
	平成24年度 一般会計補正予算(第3号)	6	5	可決
	平成24年度 一般会計補正予算(第3号)に対する修正案	5	6	否決
	平成24年度 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	10	1	可決
	平成24年度 介護保険特別会計補正予算(第1号)	11	0	可決
	平成24年度 公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	11	0	可決
	平成24年度 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	11	0	可決
	平成23年度 一般会計歳入歳出決算の認定	9	2	認定
	平成23年度 国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	11	0	認定
	平成23年度 土地取得特別会計歳入歳出決算の認定	11	0	認定
	平成23年度 介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	11	0	認定
	平成23年度 公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	10	1	認定
	平成23年度 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	10	1	認定
	町道路線の認定	11	0	可決
	工事請負契約(公共下水道工事)	11	0	可決
	固定資産評価審査委員の選任同意(野間祐司氏)	11	0	同意
	教育委員の任命同意(鈴木隆広氏)	6	5	同意
	「教育費無償化」の前進をもとめる請願	1	10	不採択
	「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる請願	1	10	不採択
	生活保護法の改悪に反対する意見書	1	10	否決
	義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	11	0	可決
	県の福祉医療制度の存続・拡充を求める意見書	11	0	可決
	国の私学助成の増額と拡充に関する意見書	11	0	可決
県の私学助成の増額と拡充に関する意見書	11	0	可決	

人事案件

固定資産評価審査委員

任期は、平成24年12月27日から3年間です。



野間祐司氏

教育委員

任期は、平成24年10月1日から4年間です。



鈴木隆広氏

意見書

下記の意見書を全会一致で可決し、国の関係機関・県に提出しましたので、要旨をお知らせします。

■義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

義務教育費国庫負担制度の国庫負担率は引き下げられ、自治体財政を圧迫している。子どもたちが全国どこに住んでいても、機会均等に一定水準の教育を受けられることが、憲法上の要請である。

義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率2分の1への復元にむけて、十分な教育予算を確保することを求める。

■県の福祉医療制度の存続・拡充を求める意見書

各市町村が今後も福祉医療制度が安定的に維持できるよう、県の福祉医療制度の現行水準を存続するとともに、子ども医療費の対象年齢の拡大、精神障がい者の対象疾病の拡大など、助成対象の拡充を図ることを求める。

■国の私学助成の増額と拡充に関する意見書

国の責務と私学の重要性にかんがみ、父母負担の公私格差を是正するための就学支援金を一層拡充すること。

また、私立学校振興助成法に基づく国庫補助制度を堅持し、私立高校以下の国庫補助金とそれに伴う地方交付税交付金を充実し、経常費補助の一層の拡充を図ることを求める。

■県の私学助成の増額と拡充に関する意見書

国からの支援金を加算し、父母負担軽減に大きな役割を果たしている授業料助成を拡充すること。

また、経常費助成も学費と教育条件の「公私格差」を着実に是正できる施策を実施することを求める。

チェンジ・チャレンジ・パワーアップ!

～理想的な議会を目指して～

議員の能力アップ中!

～予算に対する修正案提出～

9月定例会の最終日、一般会計の補正で、文化財フェアの追加予算に対し、疑義を唱えて、十数年ぶりに修正案が出ました。

今、議会が制定しようとしている議会基本条例では、「二元代表制の下、地方公共団体の事務の執行の監視機能及び立法機能を併せ持つ…」や「自覚と責任の下、不断の自己研さんにより資質の向上に努め…」などと、議会と一人ひとりの議員の活動を規定していく予定です。

予算に対する修正案の作成は、議員の仕事のひとつです。

しかし、大変なエネルギーが必要で、ほとんどの議会で単純に反対で終わっているのが実態で、今回の修正案の提出は、議会基本条例の体現だといえます。

予算の修正案の作成は、チェンジ・チャレンジの精神です。

議会基本条例の現在の到達状況は、条例案の骨子が決まり、運用規程の調整段階に入っています。

今後は条例案を公表し、皆さんに意見の募集を行います。

多くの皆さんのご協力をお願いします。

◆ ◆ ◆

議会報告会のご案内

日時：10月26日(金)午後7時から

場所：町立公民館

- ・総合福祉センター希望の家
- ・2カ所同時開催です。

お近くの会場にお越しください。

この町に産声をあげて今年で20周年を迎える「大治太鼓保存会」会長の若山善之さんにインタビューしました。

20周年おめでとうございます

ありがとうございます。

当時、国のふるさと創生で始まった「みーんなでやるまい夏祭り」の盛り上がりの中で、大治太鼓保存会が誕生しました。

右も左もわからずスタートしましたが、当初は大江戸助六太鼓の指導を受けながら、真つすぐに突っ走って、いつの間にか20年…。

いろいろご苦労があったと思いますが、現在の会員の状況や活動は

小学校1年生から70歳代まで、グループとしては、子ども連・婦人部・二千翔・尾張一座で、総勢約100人です。

これからも、150人、

200人と、会員が増えていくようにがんばります。

保存会の活動は、町内のお祭りや盆踊りはもちろんのこと、近隣のお祭りにもたくさん呼ばれており、この秋も大忙しです。

ほかに、施設慰問演奏、各小学校でのクラブ活動などを始め、全国各地のお祭りやイベントにも参加し、国民文化祭(国体の文化版)にも毎年、県を代表して出ています。

次は節目に向けて、太鼓・笛に精進し、司会の腕も磨きます。

大治太鼓を大いに発展させ、わが愛する大治を全国に知らしめたいと思っています。

本日はありがとうございました。

さらなるご活躍を祈念します。



大盛況だった発表会

暫時休憩

▼秋の虫の音が、とても心地良い。

食欲、読書、運動、芸術の秋…。

いろいろな充実できる季節となった。

▼豊穣の秋、たわわに実った稲穂が秋の風を受けて、なびいている。

—実るほど 頭を垂れる 稲穂かな—

▼議会基本条例の策定も、佳境に入った。

白熱した議論を交わしている。

▼住民に信頼され、愛される議会とするために、議員一丸となって、取り組んでいく。

12月定例会日程(案)

6日 上程・質疑など

10日 一般質問

11日 総務教育常任委員会

12日 福祉建設常任委員会

13日 採決など

20日 採決など

※日程は変更となる場合があります。